



学校だより

調布市立調布小学校
校長 井上 潔
令和元年8月27日

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

安全で充実した2学期になりますように

校長 井上 潔

子供たちの日焼けした元気な笑顔が、学校に戻ってきました。深い愛情に包まれて、思い出多い、有意義な夏休みを過ごすことができましたと思います。水泳を頑張ったり、読書を通して自分自身を見つめ直したり、お手伝いや地域のために去年より役立つことができました…、心身共に一回り大きく成長できたのではないかと思います。こうした子供たちの夏休みの貴重な体験をもとに、2学期の学習や生活を実りあるものにしていきたいと考えています。

さて、9月1日は防災の日です。1923年の関東大震災が起きた日です。調布市では、東日本大震災を教訓に、4月の第四土曜日に「調布市防災教育の日」を定めているところですが、9月の取組も大切です。ちょうわ地区協議会では、地区防災訓練を毎年計画・実行していただいています。今年も9月28日(土)に予定されています。ぜひ、大勢の方に参加していただき、実り多い訓練になればよいと思います。この機会に、下記の防災の心得を各家庭でも、もう一度見直してください。

【防災の心得】

その1 家族みんなで安全点検をしましょう…保護者の方と子供が一緒になり、安全点検をしましょう。日常では非常持ち出し品の定期点検、屋内外での安全点検など子供にも意識をもたせてください。

その2 避難場所と家族の連絡方法の確認…災害が起きた時、家族全員が一緒にいるとは限りません。自宅・学校・会社など、それぞれの避難場所を確認しておき、さらにどこを家族の集合場所にするのかを決めておきましょう。伝言ダイヤルなど、電話が通じない場合の連絡方法も確認しておきましょう。

その3 非常持出品・備蓄品の用意とチェック…災害発生時に必要な非常持出品と復旧までの5日間位を支える備蓄品を用意しましょう。まず、自助の心得が大切です。これらの品々は災害発生時にすぐに取り出せる場所に保管し、家族に置き場所を周知しておいてください。また、消化器や防災グッズの点検も忘れずをお願いします。

その4 危険箇所をチェック…家の中はもちろん、外(庭やベランダ・マンションの共有スペース等)、自宅のまわり、通勤通学ルートに、地震や大雨、土砂災害、火災等が起きた時に危険箇所がないかを確認し、もしあった場合は対策を施しておきましょう(公共施設等の場合は、市役所等に連絡・相談してください)。

2学期は、1年の中でも登校日数が一番多く、「夏」「秋」「冬」と季節の変化があり、教育活動も豊富でいろいろな学習が最も充実する学期です。水泳指導・運動会・社会科見学・調布小創立20周年関係の取組・連合音楽会・道徳授業地区公開講座…等々、たくさんの行事も計画されています。このような様々な教育活動を通して、子供たちのよさを認め励ましながら、相手に優しく接し、思いやりの心が育つよう指導し、「実りの秋」をめざしていきたいと思っています。

創立20周年関係の取組の進捗状況

この夏季休業中でも20周年式典や祝賀会に向けて準備をしているところです。調布小周年実行委員会を通して、地域にポスターを貼らせていただいたり、横断幕をデザインしていただき校舎に貼っていただいたりしています。また、自主制作の映画づくりや記念品を選んでいただく等、準備していただいています。学校側として教職員が児童と一緒に記念誌を作っています。調布小児童が、大人になった時、見てもらえるような内容にしたいと考えています。1～3年生は、「調布小のよいところ」4～6年生は、「20年後の自分」または「20年後の調布小学校」を書きました。また、全校から意見を吸い上げた取組として、代表委員会が中心になり、20周年のキャラクターを募集しました。力作がたくさんあります。委員会で作品を5つにしぼり、児童に投票してもらい決めていきます。美化委員会では、「クイズスタンプラリー」、放送委員会では、「カウントダウン」、保健・環境委員会では、「調布小いいところランキング・かざりつけ」を担当することが決定しました。